

テーマ

〔生と死〕

2020/9/1：みこころセンター

資料	対象学年	種類	タイトル	出版社	著者	コメント
書籍	小学生～	絵本	わすれられないおくりもの	評論社	スーザン・バーレイ	かけがえのない友を失った悲しみをどう乗り越えたらいいか分からない…「死」を迎え入れ、乗り越えるきっかけを考える本。
書籍	小学生～	絵本	チャーリー・ブラウンなぜなんだい？ ーともだちがおもい病気になったときー	岩崎書店	チャールズ・M・シュルツ	スヌーピーやその仲間たちと一緒に、重い病気にかかった友達のことを考え、驚き、悲しみ、いのちの大切さを考える本。
書籍	小学生～	絵本	このあと どうしちゃおう	ブロンズ新社	ヨシタケシンスケ	亡くなったおじいちゃんが残したノートを通して、生と死について考える本。
書籍	小学生～	絵本	おじいちゃんがおばけになったわけ	あすなる書房	キム・フォップス・オーカソン	おじいちゃんはなんとおばけになっちゃった。いったいどうして？デンマークの絵本。
書籍	小学生～	絵本	ずっと、ずっとだいすきだよ	評論社	ハンス・ウィルヘルム	愛する者との死別がテーマの絵本。
書籍	小学生～	絵本	ぶたばあちゃん	あすなる書房	マーガレット・ワイルド	死を予感して、支度をはじめぶたばあちゃんと、悲しみをこらえて寄り添う孫むすめ。ふたりの生と死の受け入れ方を描く。オーストラリアの絵本。
書籍	小学生～	絵本	葉っぱのフレディ ーいのちの旅ー	童話屋	レオ・バスカーリア	アメリカの哲学者が「いのち」について書いた絵本。私たちはどこから来て、どこへ行くのだろうか。

テーマ

〔生と死〕

2020/9/1：みこころセンター

資料	対象学年	種類	タイトル	出版社	著者	コメント
書籍	小学生～	絵本	マローンおばさん	こぐま社	エリナー・ファージョン	貧しくても分かち合う喜びを知っているおばさんのもとには、傷つき弱った動物たちが集まってくる。イギリスの詩絵本。
書籍	小学生～	絵本	「いのちのはなし」(講談社)	講談社	日野原重明・文、 村上康成・絵	日野原重明氏が10歳前後の子どもたちに「いのち」について行った授業を再現。「いのち」や、いのちをどうつかおうかと決める「こころ」を大切にしよう語りかけてくれる。
書籍	小学生～	文集	みんな恵理がすきだった	初等科(宗教科)所蔵	牧野昭次郎	白血病のため、10歳(聖心女子学院初等科5年生)で生涯を終えた牧野恵理ちゃんの思い出をまとめた本。

テーマ

〔生と死〕

2020/9/1：みこころセンター

資料	対象学年	種類	タイトル	出版社	著者	コメント
書籍	中高生～	絵本	いびらのすむ家	NPO法人アットホームホスピス	吉田恵子・吉田利康	お母さんを自宅で看取った家族の物語。在宅ホスピスについて知る。
書籍	中高生～	単行本	死ニカタログ	大和書房	寄藤文平	「死」についてのうんちく、「死ぬ」って何？素朴な疑問を絵で考えた本。
書籍	中高生～	単行本	生きていくうえで、かけがえのないこと	垂紀書房	若松英輔	「ふれる」「祈る」「悲しむ」「嘆く」「喜ぶ」「老いる」など、25の動詞をめぐるエッセイ集。
書籍	中高生～	単行本	夜と霧	みすず書房	ヴィクトール・E・フランクル	アウシュヴィッツに囚われ、奇蹟的に生還した著者。限界状況における人間の姿の記録。
書籍	中高生～	絵本	コルベ神父物語	聖母の騎士社	曾野綾子著 島伊三雄絵	西 アウシュヴィッツ強制収容所の餓死刑室で人の身代わりとなって死んだコルベ神父の物語。「友のために命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」
書籍	中高生～	単行本	死を生きた人々 訪問診療医と355人の患者	みすず書房	小堀鷗一郎	終末期医療について。最後の日々をどう生き、いかに終えるか。患者やその家族によりそい、最期の生き方を模索する医師の著書。

テーマ

〔生と死〕

2020/9/1：みこころセンター

資料	対象学年	種類	タイトル	出版社	著者	コメント
書籍	中高生～	文庫	病院で死ぬということ	文春文庫	山崎章郎	癌の告知をしないまま亡くなっていった多くの患者を見つめ、疑問を抱えた医師である著者が南極船に乗ることに。船の中で多くの時間を得、書物を読み漁る中で決定的な本と出会う。帰国後、再び医療に携わり、勇気を出して癌を告知し、向き合っていく治療を行うようになった。実話にもとづく。
書籍	中高生～	文庫	死ぬ瞬間	中公文庫	E・キューブラー・ロス	上記にある「決定的な本」がこれ。末期がん等で苦しむ人々に医師の立場からインタビューをしていくことで、人が死を受容するのに「否認」「怒り」「取引」「抑うつ」「受容」の5つのプロセスを経るという結論に至る。これをもとに延命治療だけではなく、死と向き合うことの大切さを立証。
書籍	中高生～	文庫	死なないでいる理由	角川文庫	鷲田清一	時に、人は自分以外の人やものに自分の意味を見出そうとする。自分と何かの“あいだ”に答えを探してみる。他者とのかかわりのなかで私たちは生かされているといことに気づかせてくれる一冊。
書籍	中高生～	漫画	透明なゆりかご	講談社	沖田×華	産婦人科医院の見習いとして働く看護学科の高校3年生の目を通して、妊娠や中絶、死産など、「命とは何か」を問い、見つめていく作品。

テーマ

〔生と死〕

2020/9/1：みこころセンター

資料	対象学年	種類	タイトル	出版社	著者	コメント
書籍	中高生～	単行本	いのちへのまなざし	カトリック中央協議会	日本カトリック司教団	いのちの尊厳といのちのさまざまなつながりについて、司教団のメッセージ。高齢社会、生命倫理、環境問題、貧困、戦争について項目あり。